

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	SDGs推進事業				シート番号	010-051
担当部署名	環境	局	環境都市推進	部	環境政策	課 評価責任者(課長名) 橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の環境文化の創造	無
	2	事業開始年度	令和 元 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	堺市SDGs未来都市計画			
5	事業実施の経緯	平成30年6月に、国からSDGs未来都市に採択されたことを踏まえ、SDGsの認知・理解度の向上に向けた普及啓発や、SDGsの達成に資する取組を積極的に進めている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民、事業者等				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	SDGsに関する認知度、理解度向上に向けた市民・事業者等への普及啓発を行うとともに、環境局におけるSDGs施策を推進することにより、本市におけるSDGsの達成及びSDGs未来都市計画に掲げる2030年のあるべき姿の実現に寄与する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○SDGsの認知・理解度の向上に向けて、SDGs未来都市・堺ロゴマークを活用した各種イベント等での啓発活動や、職員研修等を実施する。 ○市民にわかりやすいSDGsの取組として、環境面において、使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Freeチャレンジ」を推進する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	0	0	0	0	1,000	3,020	5,712	
	主な事業費内訳	委託料	千円					0	1,000	3,660
		役務費	千円					242	428	393
		使用量及び賃借料	千円					287	267	404
		需用費	千円					316	259	435
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他()	千円							
		一般財源	千円					1,000	3,020	5,712
	12	人件費(b)	千円		0		0	8,440	8,440	9,680
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	9,440	11,460	15,392	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	SDGs推進事業	シート番号	010-051
-------	----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>OSDGsの普及啓発のために、リーフレット、のぼり、缶型アルミタンブラーを作成し、イベント会場等で配布・配架した。また、SDGs未来都市・堺ピンバッジを作成し、市役所地下1階「森のキッチン」や堺市内のファミリーマートで販売した。 ○海洋プラスチック対策として、リユース食器を借り上げてSAKAI MEETING 2019でモデル導入したほか、社会福祉法人と連携したオリジナルエコバッグの開発等を行った。 ※海洋プラスチック対策は、令和2年度は「海洋プラスチック対策推進事業」として別事業で実施</p>					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		SDGsについて「言葉も意味も知っている」「言葉は知っている」市民の割合	目標値			25	50
			実績値			33.4	
			達成率			134%	
	評価				大変良い		
	算出方法・設定根拠など		市政モニターアンケート調査による				
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値					
		実績値					
		達成率					
	評価						

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① SDGsについて「言葉も意味も知っている」「言葉は知っている」市民の割合の増減	%			+ 15.5
	② 上記①にかかる年間経費	千円			5,933
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			382,774
備考(算出についての説明等)		○事業実施前後の認知・理解度を比較し、割合の増減の値で効率性を評価する ○平成30年度における割合の実績値は17.9%(市政モニターアンケート調査より)			
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①				
	② 上記①にかかる年間経費	千円			
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<p>様々な啓発物の配布・配架はもとより、ピンバッジ販売において購入者が着用することによる波及効果や、市民にわかりやすい取組として使い捨てプラスチック(ストローやレジ袋等)削減の啓発等をSDGsと絡めて発信したことにより、幅広い層へのアピールにつながり、目標を大きく超えるSDGsの認知・理解度の向上につながったと考えられる。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	SDGs推進事業	シート番号	010-051
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 SDGsは国連で合意された世界の共通目標であり、SDGs未来都市として先導的な役割が求められる中、市民や企業等のステークホルダーに対してSDGsの理解が進まず、SDGsの達成に向けた取組が実施されなくなるため、廃止できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 SDGsの達成を実現できなければ持続可能性を維持できず、市民生活等において様々なリスクが生じるため、休止できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 SDGsの達成に向けて、認知・理解度のさらなる向上や新たな取組を進めていく必要があるため、コスト縮減はできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 普及啓発や取組の推進にあたってはICTを積極的に活用し、「壊スタイル」を踏まえた新たな活動方法の導入を検討する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (政策企画部) 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 堺市版SDGsプラットフォームを構築し、公民連携の推進、ICT活用による効率化、他部局や国・府等との適切な連携を強化する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 SDGsに関する普及啓発を引き続き行うとともに、多様なステークホルダー間のパートナーシップ強化など、効率化を図りつつ新たな取組を実施することにより、本市におけるSDGsの達成及びSDGs未来都市計画に掲げる2030年のあるべき姿の実現を加速させていく。		